

俸

おん ホウ

いみとじゅく

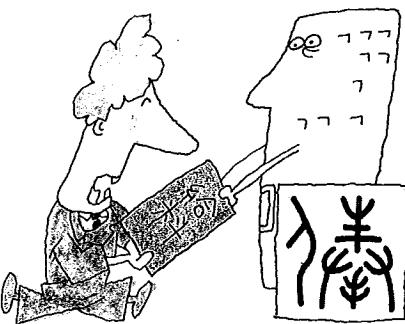
▼給料(働いた報酬として支給される金銭)。

俸給: 官公吏や会社員が報酬として支給される金銭。給

10画 伊 仁 伎 俸 傅

本俸: 手当などを除く基本となる給料。本給。

奉は「捧(ささ)げ持つ」形であるが、「押し頂く」形でもある。押し頂く意味の奉と「(にんべん)との会意形声字で、人が働く報酬として「押し頂く給料」を表した字。



泰

《元》 おん

タイ

10画 三 戈 夂 泰 泰

▼いみとじゅく
古い字は泰で、大いに安らか。安泰: 何事も無く安らかなこと。
▼大いに。はなはだ。泰平: 太平。大いに平和、の泰然: 安らかな様子。落ち着いて物事に心を動搖させない様子。例 泰然自若(どつしり)

古い字は泰で、大いに水との会意形声字。人が両手で水をくう意味の字で、生活に必要な水が豊かであること、従つて安心できるなど、「安らかなことを表す字。転じて、「驕(さる)」こと。また、「太(はなはだ)」の意味。

古い字は泰で、大いに水との会意形声字。人が両手で水をくう意味の字で、生活に必要な水が豊かであること、従つて安心できるなど、「安らかなことを表す字。転じて、「驕(さる)」こと。また、「太(はなはだ)」の意味。

▼驕(さる)。驕り高ぶる。

終わることから「成し遂げる」。

吹奏: 吹き奏でること。管楽器(笛の類)の演奏。



泰 奏

奏

《元》 おん

ソウ

9画 三 戈 夂 奏 奏

▼いみとじゅく
古い字は奏で、神に捧げる玉串(玉)を表す意味の本との会意形声字。両手を忙しく動かして玉串を神に荐めることを表した字。転じて、「手を忙しく動かす」こと。奏でる演奏。

古い字は奏で、神に捧げる玉串(玉)を表す意味の本との会意形声字。両手を忙しく動かして玉串を神に荐めることを表した字。転じて、「手を忙しく動かす」こと。奏でる演奏。

合奏: 二つ以上の楽器を合わせて演奏すること。



奏功: 仕事を成し遂げ、功績が顕れること。

棒

おん ポウ

12画 十 木 柄 棒 棒 棒

▼棒。棒状の。心棒: 回転する物の中心にある棒。回転の軸。転じて、活動の中心となるもののこと。



警棒: 警察官が防衛のために使つてする器械体操。腰につける棒。相棒: 棒を持ってかごを担ぐ相手のこと。転じて、一緒に仕事をする仲間。先棒: かごを担ぐ時に、先の方を担ぐ者。転じて、人の手先を務めること。用例: お棒立ち: 棒のようないま直(まっすぐ)に立つこと。

先棒を担ぐ。痛棒: ①座禅の時、落ち着きの無い者を打つ棒。②手ひどい攻撃。厳しい非難。バイオリンなどで伴奏を伴うもの。

独奏: 独りで演奏すること。特に聴衆に対して舞台で行うこと。手を忙しく動かす。音楽を奏でる場合にもいう。

伴奏: 独奏に合わせて補助する演奏。

棒読み: 単調な読み方。

棒

おん ポウ

いみとじゅく

▼棒。棒状の。心棒: 回転する物の中心にある棒。回転の軸。転じて、活動の中心となるもののこと。

警棒: 警察官が防衛のために使つてする器械体操。腰につける棒。相棒: 棒を持ってかごを担ぐ相手のこと。転じて、一緒に仕事をする仲間。先棒: かごを担ぐ時に、先の方を担ぐ者。転じて、人の手先を務めること。用例: お棒立ち: 棒のようないま直(まっすぐ)に立つこと。

先棒を担ぐ。痛棒: ①座禅の時、落ち着きの無い者を打つ棒。②手ひどい攻撃。厳しい非難。バイオリンなどで伴奏を伴うもの。

独奏: 独りで演奏すること。特に聴衆に対して舞台で行うこと。手を忙しく動かす。音楽を奏でる場合にもいう。

伴奏: 独奏に合わせて補助する演奏。

棒読み: 単調な読み方。